

1. 科目名 (単位数)	保健医療 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP1102
2. 授業担当教員	高橋 登志子		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>疾病構造の変化や人口の高齢化、医療施設から在宅医療への流れが進んでいる現在、保健医療に係る政策や制度はより現状に即したものに変わっていく必要がある。この科目では医療保険制度の概要と医療費に関する政策的動向、診療報酬制度の概要、保健医療に係る各専門職の役割や多職種連携についての基礎的な理解を深めるとともに、保健医療の課題を持つ人に対する社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。インフォームドコンセントやアドバンス・ケア・プランニング (ACP)、尊厳死や身体抑制の問題など保健医療に係る倫理的問題についても学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療の動向を理解し、説明することができるようになる。 2. 保健医療に係る政策、制度 (医療保険制度や診療報酬制度も含む)、サービスについて理解し、説明することができるようになる。 3. 自己決定権の尊重や尊厳死など保健医療に係る倫理について理解し、説明することができるようになる。 4. 保健医療領域における各専門職の役割と、連携や協働について理解し、説明することができるようになる。 5. 保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポートと課題等は e-mail での提出を認める。 アドレス p-totakaha@ed.tokyo-fukushi.ac.jp 講義授業内で提示する。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 『最新 社会福祉士養成講座 5 保健医療と福祉 (専門科目)』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 医療保険制度及び診療報酬制度の概要、医療費に関する政策的動向を理解し、説明することができるか。 2. 保健医療における各専門職の役割と連携、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解し、説明することができるか。 ○評定方法 1. 日常の授業態度 (参加・実践・小テスト等) 30% 2. 期末試験・レポート等 70%</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>授業には教科書を必ず持参すること、事前学習を必ず確認して参加してください。 授業中は必要以外の通信手段の電源を切ってください。 その他必要なことは、授業中に示唆します。</p>		
13. オフィスアワー	<p>授業日は、授業と授業の間の時間、授業終了後に対応する。 授業日以外に連絡を必要とした場合は p-totakaha@ed.tokyo-fukushi.ac.jp に連絡してください。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	<p>オリエンテーション シラバス、講義内容、レポートの説明 保健医療の課題をもつ人の理解(1) 健康の定義と病者とは何か 疾病・障害の生活環境</p>	事前学習	テキストの pp. 1~7 の内容を読んで臨む。
		事後学習	健康の定義と病者についてまとめること
第 2 回	<p>保健医療の課題をもつ人の理解(2) 人生における病の意味 病を持つことによって生じる諸問題 現代の家族のかたち 疾病・障害が家族に与える生活上の影響</p>	事前学習	テキスト pp. 8~22 の内容を読んで臨む。
		事後学習	人生における病の意味から 病を持つことによって生じる諸問題についてまとめること。
第 3 回	<p>保健医療の課題をもつ人の理解(3) 患者の権利 インフォームドコンセント インフォームド・アセント</p>	事前学習	テキスト pp. 23~30 の内容を読んで臨む。
		事後学習	患者の権利、インフォームドコンセント、インフォームド・アセントについてまとめること。
第 4 回	<p>医療倫理 医療倫理と倫理的課題、医療倫理 4 原則 患者の意思決定をめぐる課題 アドバンスケアプランニング</p>	事前学習	テキスト pp. 33~50 の内容を読んで臨む。
		事後学習	医療倫理、患者の意思決定についてまとめること。

第5回	保健医療の動向(1) 病像の変化 医療施設から在宅医療 地域包括ケアにおける医療機関の役割	事前学習	テキスト pp. 51～73 の内容を読んで臨む。
		事後学習	病状の変化、地域包括ケアにおける医療機関の役割をまとめること。
第6回	保健医療の動向(2) 保健医療における福祉課題 難病・依存症・認知症・自殺企図・虐待防止 と福祉課題	事前学習	テキスト pp. 74～pp. 83 の内容を読んで臨む。
		事後学習	保健医療における福祉課題についてまとめること。
第7回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識(1) 保健医療の政策・制度 保健医療サービスの提供体制 医療計画	事前学習	テキスト pp. 85～104 の内容を読んで臨む。
		事後学習	保健医療サービスの提供体制についてまとめること。
第8回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識(2) 医療費の保障 その他の政策・制度 介護保健制度、住宅・教育・就労の制度	事前学習	テキスト pp. 105～125 の内容を読んで臨む。
		事後学習	医療費の保障、その他の政策・制度についてまとめること。
第9回	保健医療領域における専門職の役割と連携(1) 保健医療領域における専門職と院内連携	事前学習	テキスト pp. 128～137 の内容を読んで臨む。
		事後学習	保健医療領域における専門職と院内連携についてまとめること。
第10回	保健医療領域における専門職の役割と連携(2) 地域の関係機関との連携の実際	事前学習	テキスト pp. 138～145 の内容を読んで臨む。
		事後学習	地域の関係機関との連携の実際についてまとめること。
第11回	保健医療領域における専門職の役割と連携(3) 医療機関におけるソーシャルワーカー所属する部門の構築	事前学習	テキスト pp. 146～160 の内容を読んで臨む。
		事後学習	医療機関におけるソーシャルワーカー所属する部門の構築についてまとめること。
第12回	保健医療領域における支援の実際(1) 保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割	事前学習	テキスト pp. 162～174 の内容を読んで臨む。
		事後学習	保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割についてまとめること。
第13回	保健医療領域における支援の実際(2) 回復期リハにおけるリスクがある人の理解 自宅退院に向けた医療ソーシャルワーカーの役割、在宅医療における支援	事前学習	テキスト pp. 175～194 の事例の内容を読んで臨む。
		事後学習	回復期リハにおけるリスクがある人の理解等の事例支援の実際から自分の考えをまとめること。
第14回	保健医療領域における支援の実際(3) 終末期ケアにおける支援 救急現場における支援、周産期における支援 認知症患者と家族への支援 他	事前学習	テキスト pp. 195～222 の事例の内容を読んで臨む。
		事後学習	終末期ケアにおける支援等の事例支援の実際から自分の考えをまとめる。
第15回	全体のまとめ	事前学習	これまでの学びから自分の考えをまとめて臨む。
		事後学習	全体まとめから、これまでの学びに不足部分プラスしてまとめること。
期末試験			